



～おはなしと絵本を楽しむ～

おはなしグループ「パルランド」通信

第11号
2019年3月



待ちに待った春の到来です。心も軽くなってワクワク、新しいことにチャレンジしたくなる季節です。私たちは、日々、図書館や学校でおはなし会をしています。季節感を大切にしています。この季節にしか味わえない、おはなしや絵本というものがあります。特に科学絵本の中には、実際に観察できないものや、普段では気づかない不思議に会える、ステキなものがあります。子どもだけでなく大人も、新しい発見や新しいものの見方ができて、ウキウキしてきます♪



春に聞きたいおはなし



ひなどりとねこ

くいしんぼうなひなどりが、ネコに食べられそうになる。とっさに「あたしのケーキを分けてあげるから」と難を逃れる。

ところが、お母さんの焼いたケーキがとってもおいしかったものだから、ひなどりは全部食べてしまった。ネコは約束通りケーキを食べにやってくるが…。さてひなどりの運命は…？

子どもは、すっかりひなどりになりきって、ハラハラドキドキしながら聞きます。

幼い子や、お話を聞きなれていない子も楽しめるおはなしです。

矢崎源九郎編
子どもに聞かせる世界の民話
実業之日本社



春に読みたい絵本



ぼく、だんごむし



こどもたちに人気の身近な虫、だんごむし。よく知っているようで、実は知らないことがいっぱい。だんごむしは昆虫ではなく、エビやカニの仲間です。だんごむしは、実にいろんなものを食べる。時々石やコンクリートを食べないと体がうまく育たないなんて、不思議な生き物！

そんな、だんごむしの生態を、暖かく親しみやすい貼り絵で描いた、楽しい自然観察絵本です。

本を読んだ後は、だんごむし博士！思わず外へ探しに行きたくなります。

得田久之 文
たかはしきよし 絵
福音館書店



'18&'19年冬

図書館おはなし会のおはなし

- 12月 ホレばあさん(グリム童話)
こびととくつや(グリムの昔話)
- 1月 ねずみのすもう (日本の昔話)
- 2月 おししのくびはなぜあかい(日本の昔話)

お出かけおはなし会(学校・園など)

たくさんのおはなしを一緒に楽しみました(*~*)
「世界で一番やかましい音」「ねむりひめ」「火の鳥と王女ワシリーサ」
「おにとあんころもち」「おししのくびはなぜあかい」「あなのはなし」
「金のとさかのおんどりと魔法のひきうす」「おかみと七ひきのこやぎ」
「ミアッカどん」「魔法の指輪」「かさじぞう」「北風に会いに行った少年」
「だめといわれてひっこむな」「ちいちゃいちいちゃい」「ラプンツェル」



絵とことばでイメージを広げる“読み聞かせ”から、自分で文字を読む“読書”へ進むには大きな壁があると言われています。文字が読めるようになって、文字を読みながら同時にイメージを広げていくのは、低学年には難しいそうです。まずは、大人が物語をたっぷり語って聞かせてあげることで、言葉をイメージに変える力が養えます。大人も一緒に楽しんで。



図書館おはなし会



～想像の翼を大きく広げて～

耳から聞くおはなしの楽しさを多くの人に届けます。興味のある方はぜひ一度聴いてみてください。

毎月第2土曜日 午後2時～(30分程度)
おはなしのへやにて

対象：6才ぐらいから大人まで
(言葉だけのおはなしを楽しんでもらうため)

内容：ストーリーテリングと絵本

※予約はいりません。お気軽にご参加ください

【おはなし会のお問い合わせ】
西脇市図書館(電話0795-23-5991)
パルランド 丸山(電話090-8930-0921)



パルランド通信は「パルランド」が発行しています。